

2019年度 日赤県支部 JRC 連絡協議会 生徒会参加活動報告書

日時：7月15日(月)10:00~15:00

場所：日本赤十字社神奈川県支部

参加者：3年 佐藤あおい 2年 石田成宏 1年 三浦果穂 松本葵 吉原向希 藤本真輝 谷口勇人

報告書：生徒会1年 谷口勇人 吉原向希

補筆 武田 校正 荒川・伊藤



◆ 参加の理由と目的

- ①. 講義を受けることで、水難予防、熱中症、地震防災の知識を身につけ自分たちの行動に活かす
- ②. 講習を通して、自ら気付き、考え、行動することを身につける
- ③. 活動を通じ、他校生徒と交流し、親睦を深める

◆ 当日の内容

当日は、開会式後、アイスブレイクでグループごとに自己紹介・風船運びゲームなどをやり、その後グループ学習に移りました。まず、夏の水難事故について注意すべきポイントを教えて頂きました。「海での離岸流の危険性」や「川遊びでの注意」「おぼれた時のペットボトルの活用法」などです。また、この時期に多い「熱中症」の対処方法も学びました。午後からは、地震防災について学びました。これは、JRC 役員の高校生がスラ



イドを作成したものを活用しての発表でした。さらにグループワークで、みなとみらい地区に地震があった場合、どのような現象が起こるか、どう行動すればよいかを考え、それぞれ発表しました。全体として充実した講習になりました。

◆ まとめと感想

全体的に、クイズを交えた解説になっていて、考えながらもわかり易く教えて頂きました。今後、自分たちが「熱中症」「水難事故」「地震災害」に遭遇した時に、慌てずに対処できるかはわかりませんが、少なくとも、思い出して次善の行動に移りたいと思いました。今後、教えて頂いた防災グッズなどを揃えるようにしたいです。



記：生徒会1年 谷口勇人

知らない方たちとのグループ活動で緊張する場面もありましたが、自分から積極的に話しかけ仲良くできたと思います。夏休みになると、よく水難事故についてニュースを耳にするのでこの講習で教わったことを活かせるようにしていきたいです。また、地震対策のために緊急避難グッズを備えたいと思うようになりました。危機に対して「備える」ということに関して考えるきっかけになった良い機会だと思いました。



記：生徒会1年 吉原向希

